

文献読解「日本語」 1/2

- 注意 (1) 問題用紙・解答用紙に受験番号を明記すること。
(2) 解答用紙に科目名及び問題番号を明記すること。
(3) 試験時間内の退室はできない。

次の詩は、茨木のり子の詩「わたしが一番きれいだったとき」です。茨木のり子は1926年に生まれ、1958年にこの詩を発表しています。この詩を読み、以下の問いに日本語で答えなさい。(外国人等100点)

わたしが一番きれいだったとき
街々はがらがら崩れていって
とんでもないところから
青空なんかが見えたりした

わたしが一番きれいだったとき
まわりの人達がたくさん死んだ
工場で 海で 名もない島で
わたしはおしゃれのきつかけを落としてしまった

わたしが一番きれいだったとき
だれもやさしい贈り物を捧げてはくれなかった
男たちは拳手の礼しか知らなくて
きれいな眼差しだけを残し皆発っていった

わたしが一番きれいだったとき
わたしの頭はからっぽで
わたしの心はかたくなで
手足ばかりが栗色に光った

わたしが一番きれいだったとき
わたしの国は戦争で負けた
そんな馬鹿なことってあるものか
ブラウスの腕をまくり
卑屈な町をのし歩いた

わたしが一番きれいだったとき
ラジオからはジャズが溢れた
禁煙を破ったときのようにくらくらしながら
わたしは異国の甘い音楽をむさぼった

わたしが一番きれいだったとき
わたしはとてもふしあわせ
わたしはとてもとんちんかん
わたしはめっぼうさびしかった

だから決めた できれば長生きすることに
年とってから凄く美しい絵を描いた
フランスのルオー爺さんのように

ね

2026年度 (春期)

受 験 番 号

大学院 国際文化研究科 国際文化専攻 博士前期課程 入学試験問題

文献読解「日本語」 2/2

- 問一 この詩の背景としてどのような時代状況があったのか。詩を引用しながら説明しなさい(字数制限なし)。(50点)
- 問二 作者はどんな思いを込めてこの詩を作ったのだろうか。あなたが想像することを自由に述べなさい(字数制限なし)。(50点)